

## 函館市の環境の現状と課題

1 地球環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地球温暖化について、日本の年平均気温はこの100年間で約1.11℃上昇しています。</li> <li>●酸性雨について、国では酸性雨の長期モニタリングを行っています。</li> <li>●オゾン層の破壊について、国では規制対象物質の段階的対策を行っています。</li> <li>●森林減少について、国では森林保全に向け国際協力を進めています。</li> <li>●海洋汚染について、国では油や廃棄物の排出規制など、船舶などに対する監視・指導を行っています。</li> <li>●生物多様性の状況について、国では全国の自然環境の現状や変化の状況を把握するため調査を行っています。</li> </ul>
2 大気	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大気環境はおおむね良好な状況です。</li> <li>●引き続き自動車排出ガスの抑制や適正な監視体制の確保が必要です。</li> <li>●悪臭に対する苦情の割合が多く、適正な施設管理などが必要です。</li> </ul>
3 水	<ul style="list-style-type: none"> <li>●松倉川水系や常盤川水系の一部で汚濁が見られます。</li> <li>●今後も適正な監視体制が必要です。</li> <li>●健全な水循環の確保に向けた取り組みが必要です。</li> </ul>
4 騒音・振動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自動車騒音については、昼夜とも環境基準を超過している地点が見られます。</li> <li>●生活騒音や工事などにおける騒音・振動に対しては、近隣住民への配慮が必要です。</li> <li>●騒音に対する苦情の割合が多く、規制基準の遵守が求められます。</li> <li>●今後も適正な監視体制が必要です。</li> </ul>
5 化学物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>●適正管理の確立および情報の収集が必要です。</li> <li>●今後も化学物質や人体への影響が懸念される事象などに対する調査・研究が必要です。</li> </ul>
6 自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>●豊かな自然環境が存在し、多様な動植物が生息・生育しています。</li> <li>●自然との共生に向けた取り組みが必要です。</li> <li>●自然状況の把握や自然保護意識の高揚などが必要です。</li> </ul>
7 自然とのふれあいの場	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市街地において自然とふれあうことのできる水辺が少ないと感じられています。</li> <li>●快適に憩える公園などの整備が必要です。</li> <li>●緑化運動や水辺の美化など、身近な取り組みが必要です。</li> </ul>
8 景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歴史的町並みをはじめとした都市景観の形成が進められています。</li> <li>●函館山からの眺望景観は多くの市民、観光客に親しまれていますが、環境への配慮も必要です。</li> <li>●美化に対する意識・マナーの向上が求められています。</li> </ul>
9 廃棄物	<p><b>資源の循環的利用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●廃棄物として処理されるものの中には、循環資源として利用できるものが含まれています。</li> <li>●資源が有効利用される、資源循環システムの構築が必要です。</li> </ul> <p><b>廃棄物</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●1人1日あたりの排出量は横ばい傾向であることから、今後も減量化に取り組む必要があります。</li> <li>●産業廃棄物については、再資源化が進んでいますが、引き続き発生抑制に向けた取り組みが必要です。</li> <li>●不法投棄の対策として、意識啓発に向けた取り組みが必要です。</li> </ul>
10 エネルギーの有効利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●使用電力量は増加しています。</li> <li>●省エネルギーの推進や自然エネルギーの利用を促進する必要があります。</li> <li>●公共交通機関利用者が減少しています。</li> </ul>
11 環境教育・意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正しい知識と問題解決能力を有する人材育成に向けた取り組みが必要です。</li> <li>●環境教育や環境学習の取り組みは行われていますが、今後は一層の充実が必要です。</li> <li>●環境保全意識の向上を図るため、更なる情報提供が必要です。</li> </ul>
12 環境保全活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●様々な取り組みが行われていますが、今後はより積極的・自発的な行動が必要です。</li> <li>●環境に関する行事や市民活動への参加が必要です。</li> <li>●環境保全活動の拡大や連携への取り組みが必要です。</li> </ul>